

別記

第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		令和元年 7月24日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 兵庫県尼崎市東本町1丁目50番地		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） ユニチカ株式会社 代表取締役社長 上 埜 修司
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001 : 2015	
適 用 範 囲	ユニチカ株式会社宇治事業所、ユニチカトレーディング株式会社、ユニチカグラスファイバー株式会社、株式会社アドール	
導 入 年 月 日	2001年 3月26日	
認 証 番 号	JCQA-E-0249	
基 本 方 針	「暮らしと技術を結び、人と自然との共生に貢献する企業活動を行う」を基本方針とするユニチカ地球環境憲章に基づき、ユニチカ宇治地区事業所及び、その関連会社はそれぞれの事業活動に通じて、豊かで美しい地球環境の保全とその継続的な向上に努力する。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	環境保全に関する法規制、及び当事業所が同意する地域・業界団体の協定或いは要望事項等を遵守すると共に、必要に応じて自主基準を制定し、一層の環境保全に取り組む。 生産活動の全領域において、省エネルギー・省資源の推進を図ると共に、資源のリサイクルを促進し、廃棄物の削減に努める。 当事業所が生産活動を行うにあたっては、地域社会や地球環境に与える環境を常に考慮し、環境汚染の予防に努めると共に、環境マネジメントシステムの継続的改善を行う。 事業所内の関連会を含む重合@全員への教育・啓蒙活動を推進し、環境意識の向上を図ると共に協力会社へも周知し、理解と協力を要請する。	
目標を達成するための取組の内容	部署毎に1年単位で目標を掲げ、3ヶ月単位で進捗状況の確認及び評価を実施し、半年毎にISO事務局で確認。目標が到達していない場合は、原因を追究し、改善に取り組んでいる。	
目標を達成するための取組の進捗状況	節電の啓発活動、空調温度の適正化・廃棄物の分別投棄の定着、焼却紙屑の再資源化、リサイクル率向上に関する施策の提案と実行、ペーパーレス化の推進、アイドリングストップ、ノーカーダーの実施、環境配慮型材料の開発。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	部署毎に1年単位で目標を掲げ、3ヶ月単位で進捗状況の確認及び評価を実施し、半年毎にISO事務局で確認。目標が到達していない場合は、原因を追究し、改善に取り組んでいる。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	水質・大気・騒音については、宇治市と公害防止協定を結び、測定結果を2ヵ月に1回宇治市へ報告。協定違反及び違反事項は無し。 その他の法令に関しては、環境内部監査及び外部監査にて遵守状況を確認し、特に問題は無い。また行政指導も無い。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境内部監査と外部監査にて、要求事項の適合性確認と改善内容の確認（各1回/年）外部認証機関より適合していることが確認された。 事業所長によるマネジメントレビューの実施（1回/年） 全体の運営は、システム通り機能していると評価している。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。